

### 3 短期大学・高等専門学校

(1) 就職者総数は623人で、前年より129人減少している。そのうち県内に就職した者は476人で、前年より83人減少している。県内就職率は76.4%で、前年より1.4ポイント上昇している。

県内就職率を学科別でみると、社会学科、教育学科で90%を超える高い率になっている。

県外就職者は147人で、前年より46人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州90人(61.2%)、関東27人(18.4%)、中国10人(6.8%)、中部8人(5.4%)の順となっている。

進学者総数は308人で、前年より57人増加している。県内進学率は58.1%で、前年より1.7ポイント低下している。

表5 学科別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	22年3月	21年3月								
卒 業 者 総 数	1,163	1,170	256	210	163	137	138	160	49	26
就 職 者 総 数	623	752	154	130	52	68	63	98	27	19
就 職 率	53.6	64.3	60.2	61.9	31.9	49.6	45.7	61.3	55.1	73.1
うち県内就職者	476	559	122	96	49	60	19	28	9	10
県内就職率	76.4	74.3	79.2	73.8	94.2	88.2	30.2	28.6	33.3	52.6
進 学 者 総 数	308	251	34	39	66	38	67	58	18	7
進 学 率	26.5	21.5	13.3	18.6	40.5	27.7	48.6	36.3	36.7	26.9
うち県内進学者	179	150	9	14	46	20	33	28	1	-
県内進学率	58.1	59.8	26.5	35.9	69.7	52.6	49.3	48.3	5.6	-
一時的な仕事に就いた者	53	50	16	14	5	11	-	1	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	4.6	4.3	6.3	6.7	3.1	8.0	-	0.6	-	-
うち県内居住者	37	30	14	13	4	6	-	-	-	-
県内居住率	69.8	60.0	87.5	92.9	80.0	54.5	-	-	-	-
そ の 他 総 数	179	117	52	27	40	20	8	3	4	-
そ の 他 の 率	15.4	10.0	20.3	12.9	24.5	14.6	5.8	1.9	8.2	-
うち県内居住者	96	62	37	11	12	12	5	-	4	-
県内居住率	53.6	53.0	71.2	40.7	30.0	60.0	62.5	-	100.0	-

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	22年3月	21年3月	22年3月	21年3月	22年3月	21年3月
卒 業 者 総 数	161	193	246	307	150	137
就 職 者 総 数	103	166	186	245	38	26
就 職 率	64.0	86.0	75.6	79.8	25.3	19.0
うち県内就職者	82	129	172	224	23	12
県内就職率	79.6	77.7	92.5	91.4	60.5	46.2
進 学 者 総 数	25	10	36	40	62	59
進 学 率	15.5	5.2	14.6	13.0	41.3	43.1
うち県内進学者	7	3	35	34	48	51
県内進学率	28.0	30.0	97.2	85.0	77.4	86.4
一時的な仕事に就いた者	10	2	6	3	16	19
一時的な仕事に就いた者の率	6.2	1.0	2.4	1.0	10.7	13.9
うち県内居住者	10	2	6	3	3	6
県内居住率	100.0	100.0	100.0	100.0	18.8	31.6
そ の 他 総 数	23	15	18	19	34	33
そ の 他 の 率	14.3	7.8	7.3	6.2	22.7	24.1
うち県内居住者	17	11	16	12	5	16
県内居住率	73.9	73.3	88.9	63.2	14.7	48.5

(2) 就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が250人(40.1%)で最も多く、次いで、教育、学習支援業76人(12.2%)、卸売業、小売業70人(11.2%)、製造業39人(6.3%)の順となっている。また、前年に比べそれぞれ5.0ポイント低下、4.0ポイント上昇、2.0ポイント上昇、2.2ポイント低下となっている。

県内就職者を産業別で見ると、医療、福祉が212人(44.5%)で最も多く、次いで教育、学習支援業65人(13.7%)、卸売業、小売業56人(11.8%)、金融業、保険業23人(4.8%)の順となっている。また、前年に比べそれぞれ9.9ポイント低下、5.0ポイント上昇、2.7ポイント上昇、0.9ポイント低下となっている。

図6 産業別就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

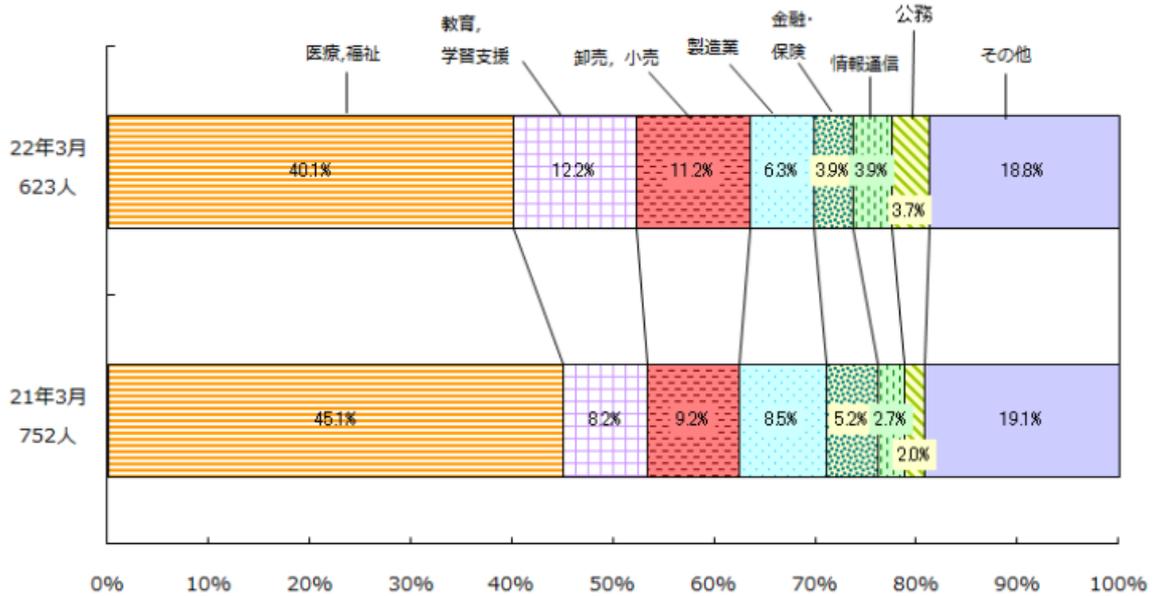


図7 産業別県内就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

